

のびのび枝を広げるエンジュの並木～南青山。みゆき通り



東京の南青山みゆき通りの街路樹。きれいに剪定された街路樹に見慣れた目には、自然に枝葉を広げるエンジュの並木はとっても新鮮に映る。狭い歩道でありながら枝を四方に広げる姿は沿道の洒落た街並みとも相まってヨーロッパの古い都市を連想させる。

エンジュの落葉や花殻に対する苦情から常緑のクログネモチに植え替える計画が進んでいた。それに対しエンジュ並木に親しんだ沿道の人達が「エンジュ並木を守る会」をつくり東京都に待ったをかけた。そして彼らは苦情のもとになった夏の花殻、秋の落ち葉の清掃を始めた。都もこうした人達の努力にこたえ植替え計画を中止した。



さらによりよいエンジュ並木を模索する人達は樹木に負担が大きい従来の剪定をやめるよう都に申し入れた。

沿道の人達はこの運動のなかで枝を伸ばし葉を繁らすことで樹木は健全になり、根を張る強いエンジュになる事を学んだ。都も住民の申し入れに理解を示し越境枝等必要最小限の剪定以外手をいれないことにした。

現在の枝を広げた自然な姿は2012年以降ほとんど剪定されていない結果である。まだまだ土壌固結や強剪定で腐朽が進んだエンジュなどの問題があるが、この美しい並木が住民と行政の努力によって、さらに進化していけるよう本会会員は手助けしている。

<中川良雄（都市のみどり研究会）>

